

# 企業紹介

## 独自の技術で情報産業を活性化 「ITのまちづくり」を進める

## KASIX 株式会社 カシックス

代表取締役社長 上野 尚利  
〒945-0833 柏崎市若葉町2-22  
TEL 0257-22-7337 FAX 0257-22-7001  
<http://www.kasix.co.jp>

業 種：情報処理サービス業  
資 本 金：8,500万円  
事業内容：包括アウトソーシング、システム開発  
文書デジタル化・キャリア開発 ほか

自治体情報処理システムの包括アウトソーシングやシステム開発事業・キャリア開発事業などを展開する(株)カシックス。新しいIT技術の研究やシステムエンジニアの育成に取り組み、地元柏崎市の情報産業をリードする存在となっている。近年は、『柏崎マラソン』大会事務局を務めるなど社会貢献活動にも力を入れる。

### 地元柏崎市で情報産業の活性化事業を展開

同社は昭和62年、柏崎市で「民活法」情報化基盤認定第1号の第三セクター企業として設立。自治体からの包括アウトソーシング（情報政策業務・住基・税・福祉業務などの保守・運営、他）や永年保存文書のデジタル化、システム開発、キャリア開発などを主体に事業を展開、成長を続けている。

また、最近では、日本人が設計開発した、フリーライセンスのプログラム言語“Ruby（ルビー）”を活用した事業にも着手。地元企業や図書館などの教育機関、ドナルド・キーン・センター柏崎のアプリケーションソフトや蔵書検索システムの開発などを行っている。さらに、「柏崎IT・ソフトウェア産業協会（KSK）」の会員として、地元IT企業同士の連携を強めて情報産業の振興を目指す“Rubyコミュニティプロジェクト”にも参画。柏崎市の情報産業活性化に努め、「ITのまちづくり」に貢献している。



▲地元情報産業の拠点を担う本社（柏崎市）



▲同社が参画する「Rubyコミュニティプロジェクト」のシンボルマーク

### 常に新しいスキルに対応できる「人財」を育てる

同社の強みは、システム開発における定義・設計・運用・開発を統括マネジメントできる優秀なシステムエンジニアを多数有していること。

これにより、専門知識が必要とされる自治体からの包括アウトソーシングでは、厳しい基準を満たした情報システムやサービスを提供することができる。こうした、質の高い業務が評価され、平成25年には東日本大震災の被災自治体の支援企業にも選ばれている。

社員を「人財」へと育てるため、各種教育の実施、情報処理スキルレベルや適応分野を判定できる“ITIL（ITスキル・スタンダード）”を導入。判定結果に基づき、1人1人の特性に合ったトレーニングを行うことで、スキルアップを図ることはもちろん、常に新しいIT技術やRubyをはじめとしたプログラム言語に対応できるシステムエンジニア、プログラマーの育成に取り組んでいる。

### 『柏崎マラソン』大会運営で地域を盛り上げる

地元柏崎地域の活性化を目的に、『柏崎マラソン』大会事務局を務めている同社。平成15年にスタートした『柏崎マラソン』大会は、“日本陸上競技連盟公認大会”の一つで、毎年10月下旬に開催される。

当初は1,000人にも満たなかった参加者が、昨年は過去最多の2,501人となり、その規模は年々拡大している。今後も、地域を盛り上げるため、大会運営を通じて社会貢献活動に力を入れていく。



▲『柏崎マラソン』の運営で地域活性化に貢献